

【高島鋳建株式会社】

【所在地】:高島市今津町下弘部 258 番地
【TEL】:0740-22-8118
【URL】:<http://www.takashimakouken.com/>
【従業員数】:48人(男性43人/女性5人)
【業種】:建設業、碎石製造販売業



特色ある 取組内容

◇取組1 我が社の子育て環境づくりを進めよう！

- * 幼稚園、小学校の学校行事への確実な参加
- * 親子の対話の時間を設ける

◇取組2 働く姿を見せよう、仕事について語り合おう！

- * 職場見学会(CESA環境プログラム)の実施

1 【協定締結日、取組概要】

〈協定締結日〉平成18年7月1日

〈取組概要〉

◇取組1 我が社の子育て環境づくりを進めよう！

- * 啓発ポスターの掲示
- * ノー残業デーを定め、家族と過ごす時間を設ける。

◇取組2 働く姿を見せよう、仕事について語り合おう！

- * 職場開放日を設け、子どもたちが親の働く様子を見学することにより、仕事の厳しさややりがいを理解する機会とする。
- * 建設現場において、地域の子どもたちが職場体験活動に取り組むことにより、次世代の担い手を育成する一助とする。

◇取組3 子どもの体験活動を支援しよう！

- * CESA環境プログラム(次頁参照)に基づき、地域、学生と共に建設現場の環境を見直し、学ぶ機会とする。

◇取組4 学校へ行こう！

- * 育児・介護休暇の取得促進を行い、積極的に子育てや介護に携わる。
- * エコアクション21の取組
- * 学校行事への参加を推奨する。

2 【特色ある取組内容にかかるねらい】

次世代育成支援対策推進法に基づき、平成20年9月に一般事業主行動計画を作成した。また、滋賀県ワーク・ライフ・バランス推進企業への登録も併せて行った。平成26年12月には、新たな行動計画を策定し、更なる取組に努めている。

子どもと接する時間が少ないとされている今日において、こうした取組等をとおして親と子の絆を大切にしている。

〈他社の参考となる点〉

* 高島鋳建株式会社 行動計画より抜粋

高島鋳建株式会社のすべての従業員が能力を発揮できるよう、雇用環境の整備を行うと共に、地域の次世代育成支援対策に貢献するため、行動計画を策定している。

1. 計画期間：平成27年1月1日から平成28年12月31日までの2年間

2. 内容

目標2：「職場体験による就業体験機会の提供を拡大する」

〈取組〉

平成27年1月～

- ・受け入れる組織への教育の実施
- ・階層別の研修(年2回)及び朝礼時の周知

平成27年4月～

- ・受け入れ開始

3【成果と今後に向けて】

*〈CESA環境プログラムの実施〉

[CESA：循環型社会形成推進協議会
Construction Eco Spirit Association]

CESA環境プログラムとは、環境学習の一環で、NPO法人と協力して、工事施工中に出てくる地層や、植物の生態、びわ湖や川の歴史など多くの様々なプログラムについて学習するものである。その中で、人と自然にやさしい、調和のとれた、地域の特色が活かされた安全で安心できる住みよい環境をつくり、普段立ち入ることのできない建設現場において工事の必要性を説明したり、作業所で実施している環境への取組を説明するなど、子どもたちに環境保護の必要性を伝えている。



*〈CESA環境プログラム実施実績〉

【実施日】平成18年1月20日
【対象校】高島市立朽木西小学校
【工事名】道の駅「藤樹の里あどがわ」
駐車場整備工事

【実施日】平成19年3月16日
【対象校】甲賀市立雲井小学校5年生
【工事名】大津信楽線黄瀬地区外道路
舗装工事

【実施日】平成20年3月7日
【対象校】湖南市立石部南小学校4年生
【工事名】栗東水口道理野洲川橋脚工
事

【実施日】平成20年年7月9日
【対象校】長浜市立神照小学校6年生
【工事名】外谷川補助砂防総合合流防
災工事

【実施日】平成22年7月5日
【対象校】高島市立今津北小学校6年生
【工事名】石田川障害防止対策工事

【実施日】平成24年7月10日
【対象校】愛荘町立愛知川小学校6年生
愛荘町立秦荘東小学校6年生
【工事名】名神高速道路湖東三山スマ
ートインターチェンジ工事

【実施日】平成25年7月27日
【対象校】近江八幡市島地区のみなさん
【工事名】長命寺川支流補助通常砂防
(総流防)工事

【実施日】平成26年6月17日
【対象校】竜王町立竜王西小学校3・
4年生
【工事名】竜王IC周辺地区岡屋交差
点改良祖父川大橋橋梁下部
工事

*〈実際の学習の様子〉

現場に生息しているケヤキの木の幹の太さと高さを計測し、樹齢について推測したり、CO₂の吸収する量について調べた。

普段何気なく見ている木でも測って見ると友達5人が手をつながないと1周回れないほど大きな木もあり、子どもたちが自然について学ぶ機会となった。



CESA環境プログラムの一環として、子どもたちがプログラムシートを活用し、友だちといろいろなことを質問しながら学びを深めることができた。



建設機械に実際に乗り、運転手の目線や構造上の死角など身をもって体験することで、事故を未然に予防したり、建設現場でのルールや、交通安全について同時に学ぶことにつながった。



《事業主からのメッセージ》

弊社の基本理念でもあります『美しい自然との共存』のもと、我社は地域に密着し、地域社会に貢献し、信頼される企業として成長できるように、今後も子どもたちの健やかな育ちのための活動を積極的に行い、日々精進していきます。



代表取締役社長
桑原 隆夫氏